



## 二学期 皆さんの益々の成長を期待しています

校長 富川 麗子

今日から2学期が始まります。「地球沸騰化」と表現されるほど猛烈に暑い夏でしたが、大きな事故もなく、皆さんと無事に2学期を迎えられたことを嬉しく思います。1学期終業式に、私は、『心得』の歌詞から「自分の力を信じて前に進むことの大切さ」について話をしました。皆さんはこのことを心にとめながら、夏休みを過ごすことができたでしょうか？

ここでは、夏季休業中に行われた活動で、特に優れた取組み(社会貢献活動)二例について紹介します。

### 1 社会貢献活動

#### (1) サマースクール・算数マラソン ボランティア

この夏、近隣の久米川小学校で開催されたサマースクール、特に算数マラソンにおいて、本校の23名の生徒たちがボランティアとして参加しました。23名は、三日間にわたって、小学生たちの学習をサポートし、学習意欲を高めるために尽力しました。この取組みは、社会貢献活動の一環として、非常に重要なものでした。

本校の生徒たちが、地域社会に貢献する姿をととても誇りに思います。皆さんの努力のおかげで、多くの小学生たちが、算数に対する興味をもち、学びの意欲を高めることができました。また、皆さんが彼らに教えたことで、小学生たちの学力向上にも貢献することが出来ました。

この活動を通じて、小学校の先生方からも、感謝の意を表されました。小学校の先生方は、皆さんの協力を深く感謝してくださり、皆さんの努力が小学生たちの成長にとって、非常に役立ったと評価しています。

皆さんは、本校生徒として、小学生たちに教え、小学生の学習サポートという、非常に重要な役割を果たしました。社会貢献は、本校の目指すところであり、皆さんが積極的に参加してくれたことに、私は感謝しています。

#### (2) 防災士講座

防災士講習に多くの生徒が参加申し込みをし、最後まで取り組む姿勢を見せてくれました。これは、非常に素晴らしいことです。災害時には、適切な知識と行動が求められます。皆さんが、この講習に参加し、学んだことを実践に移すことで、自分自身だけでなく、周りの人々や地域社会にも大きな影響を与えることができます。

特に9月3日に行われる東村山市を会場とした東京都総合防災訓練において、皆さんの活躍が期待されています。これは、皆さんにとって、学んだ知識と技術を実際に活用する絶好の機会です。

また、この講習に参加することで、皆さんは将来的にも、災害時に冷静に行動する力、他人を助ける力を身に付けることができます。これは、皆さんにとって、人生において非常に重要なスキルとなります。皆さんが、このような活動に参加し、責任を果たすことは、社会にとって非常に価値のあることです。今回、このような講習に参加しなかった皆さんにも、社会に貢献する活動に参加するきっかけとなることを願っています。

### 2 関東大震災から100年目

9月1日は、「防災の日」です。1923年(大正12年)関東大震災が起き、甚大な被害が発生しました。この日を忘れることなく、災害について認識を深め、備えを強化する日とするため、「防災の日」が制定されています。

今年の夏も各地で様々な災害がありました。いつ、どんなことが起こっても大丈夫のように、常に準備をしておくことが大切です。これを機に、自助・公助・共助の精神について、改めて考えることが大切です。なお、高校生には、震災後に高校生として出来ることを考えていくことが社会で求められています。そのためには、防災についての知識を増やしたり避難訓練等を真剣に行うことが大切です。「地震は防げないが、震災は人の備えで防ぐことができる」のです。

日本は、地形や地質、気象等の自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火等による災害が発生しやすい国土となっています。関連する被害については、報道等で皆さんも確認していると思います。9月20日には、避難訓練を行います。関東大震災から100年のこの節目の年に、是非、家族と一緒に大地震に備えて、非常時の持ち出し袋を用意したり、家具に転倒防止器具を取り付けたり、避難所や避難経路について家族と話し合う機会を皆さんから作ってみてください。



始業式及び表彰の様子【写真上・下】